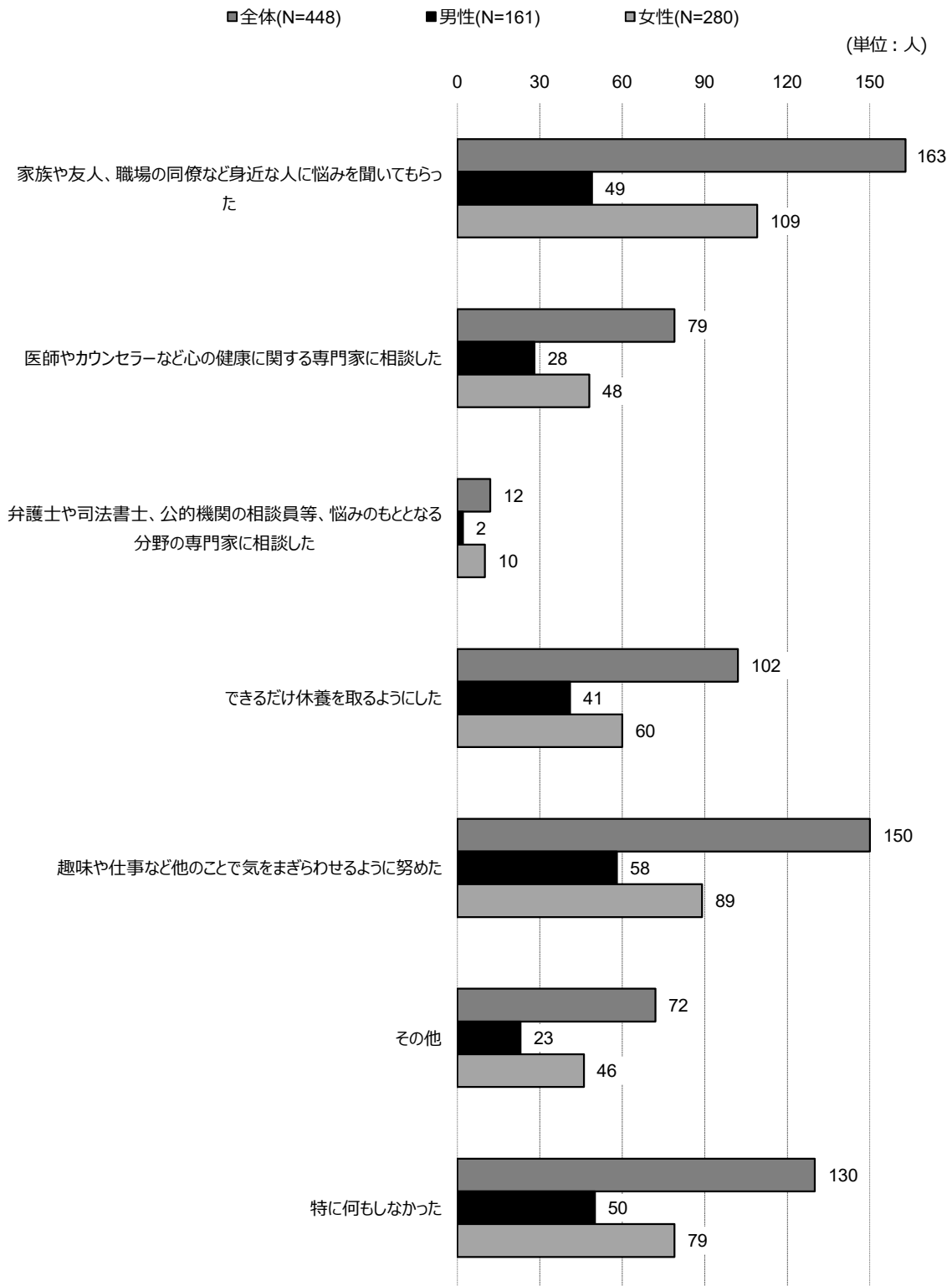


問 15-1 そのように考えたとき、どのようにして思いとどまりましたか。(複数回答)

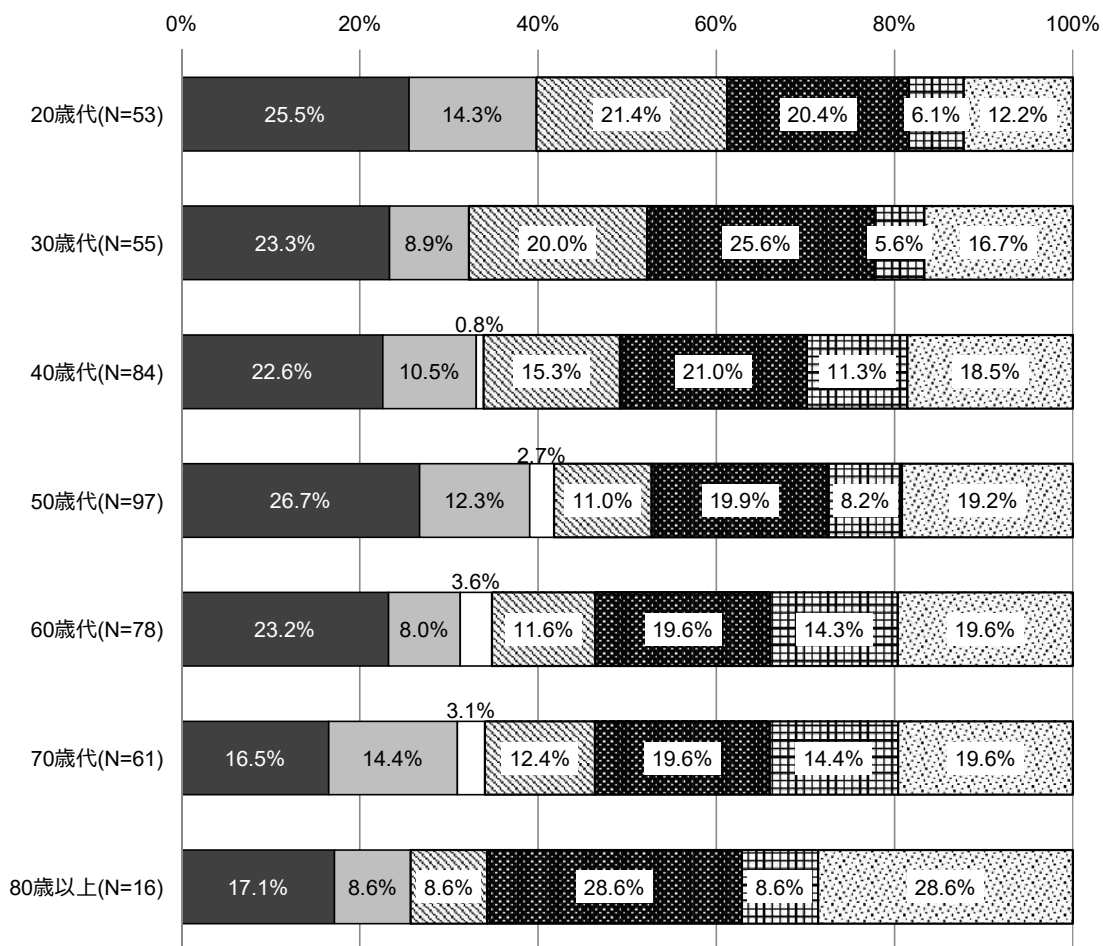
これまでの人生のなかで「本気で自殺したい」と考えたことがあると回答した方が、そのように考えたとき、どのようにして思いとどまったかについて、高い方から「家族や友人、職場の同僚など身近な人に悩みを聞いてもらった」「趣味や仕事など他のことで気をまぎらわせるよう努めた」「特に何もしなかった」であった。



○ 自殺を思いとどまったことと年齢との関係

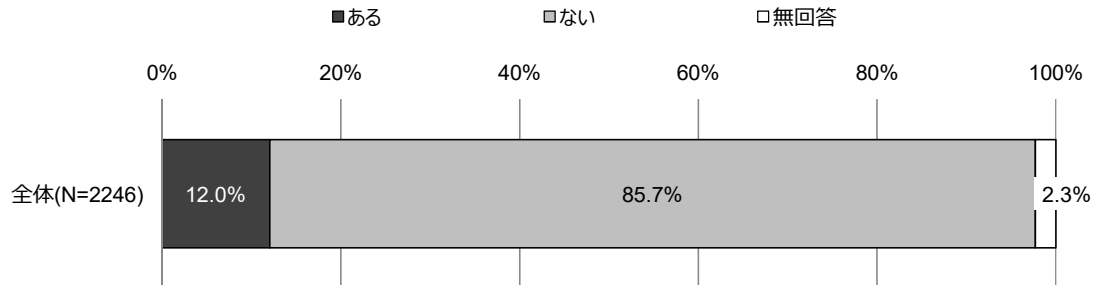
これまでの人生のなかで「本気で自殺したい」と考えたことがあると回答した方が、そのように考えたとき、どのようにして思いとどまったについて、年齢別でみると、「特に何もしなかった」と回答した人の割合は、およそ年代が上がるほど高くなる傾向が見られた。

- 家族や友人、職場の同僚など身近な人に悩みを聞いてもらった
- 医師やカウンセラーなど心の健康に関する専門家に相談した
- 弁護士や司法書士、公的機関の相談員等、悩みのもととなる分野の専門家に相談した
- ▣ できるだけ休養を取るようにした
- 趣味や仕事など他のことで気をまぎらわせるように努めた
- その他
- 特に何もしなかった



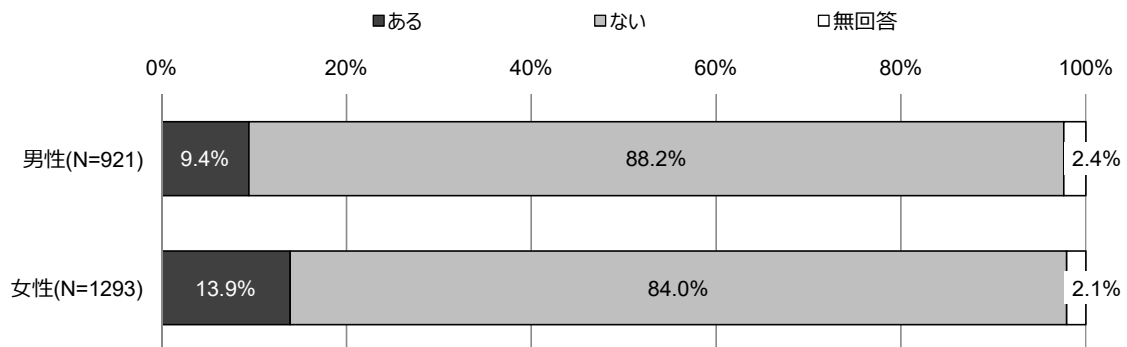
問 16 これまでに、身近な人から「死にたい」と打ち明けられたことがありますか。

これまでに、身近な人から「死にたい」と打ち明けられたことが「ある」人の割合は、12.0%であった。



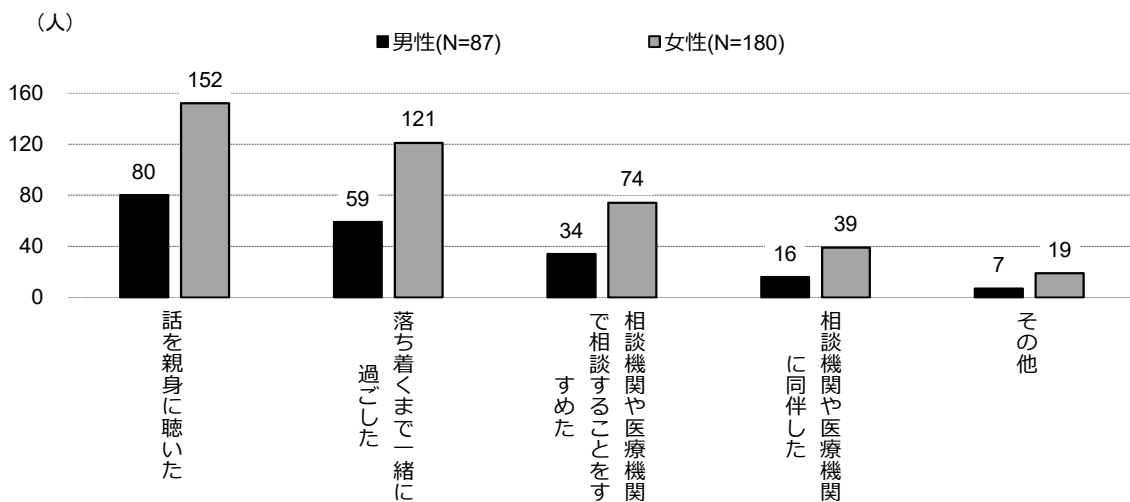
○ 性自認との関係

性自認別にみると、これまでに、身近な人から「死にたい」と打ち明けられたことが「ある」人の割合は、「男性」9.4%、「女性」13.9%であった。



問 16-1 その時は、どのように対応しましたか。(複数回答)

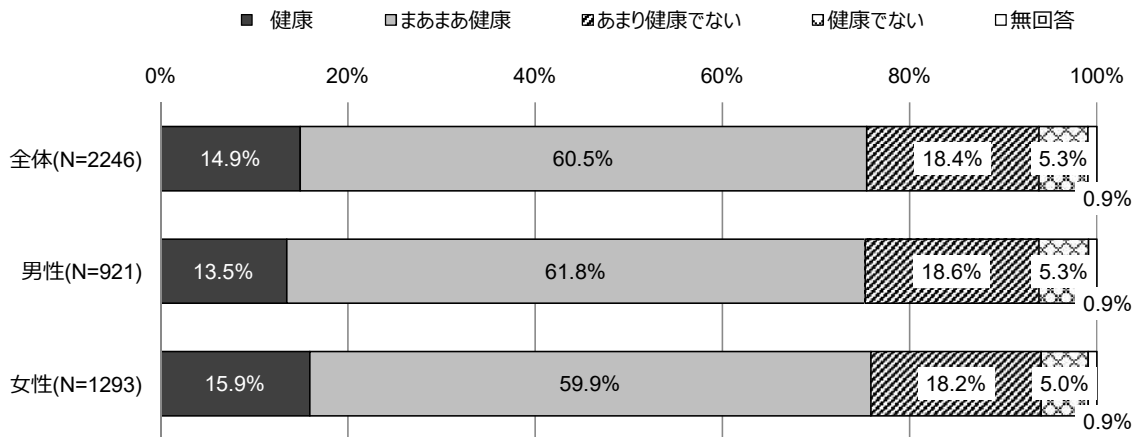
身近な人から「死にたい」と打ち明けられたときの対応は、高い方から「話を親身に聴いた」、「落ち着くまで一緒に過ごした」であった。



3 健康状態・生活習慣について

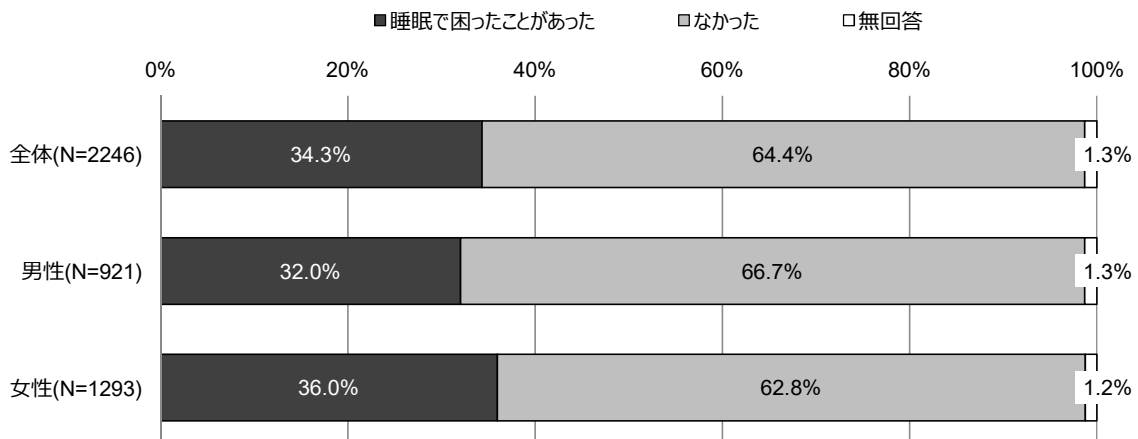
問17 あなたの現在の健康状態について、ご自身ではどう感じていますか。

現在の健康状態について「健康」「まあまあ健康」と感じていると回答した人は75.4%であった。



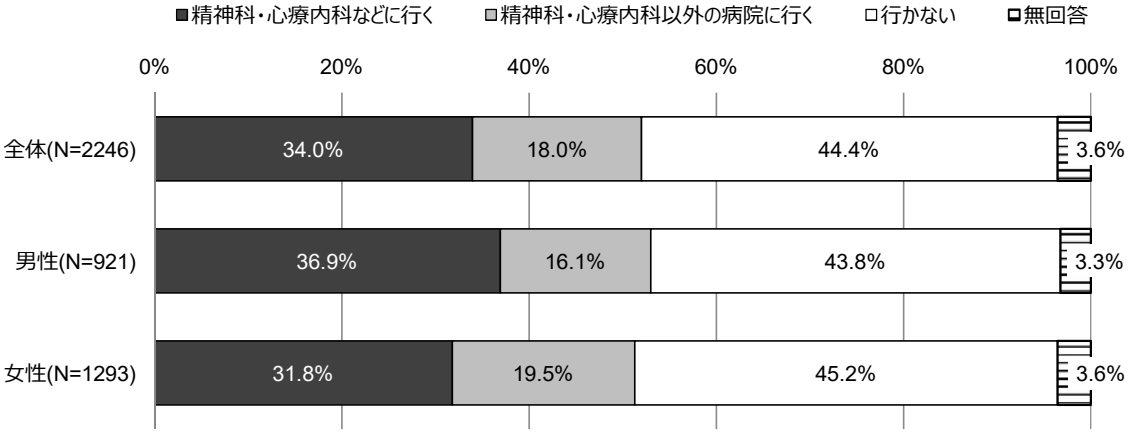
問18 最近1ヶ月の間に、眠れないなど睡眠でお困りのことがありましたか。

最近1ヶ月の間に、眠れないなど「睡眠で困ったことがあった」と回答した人は、34.3%であった。性自認別では、「男性」と「女性」に大きな差異はみられなかった。



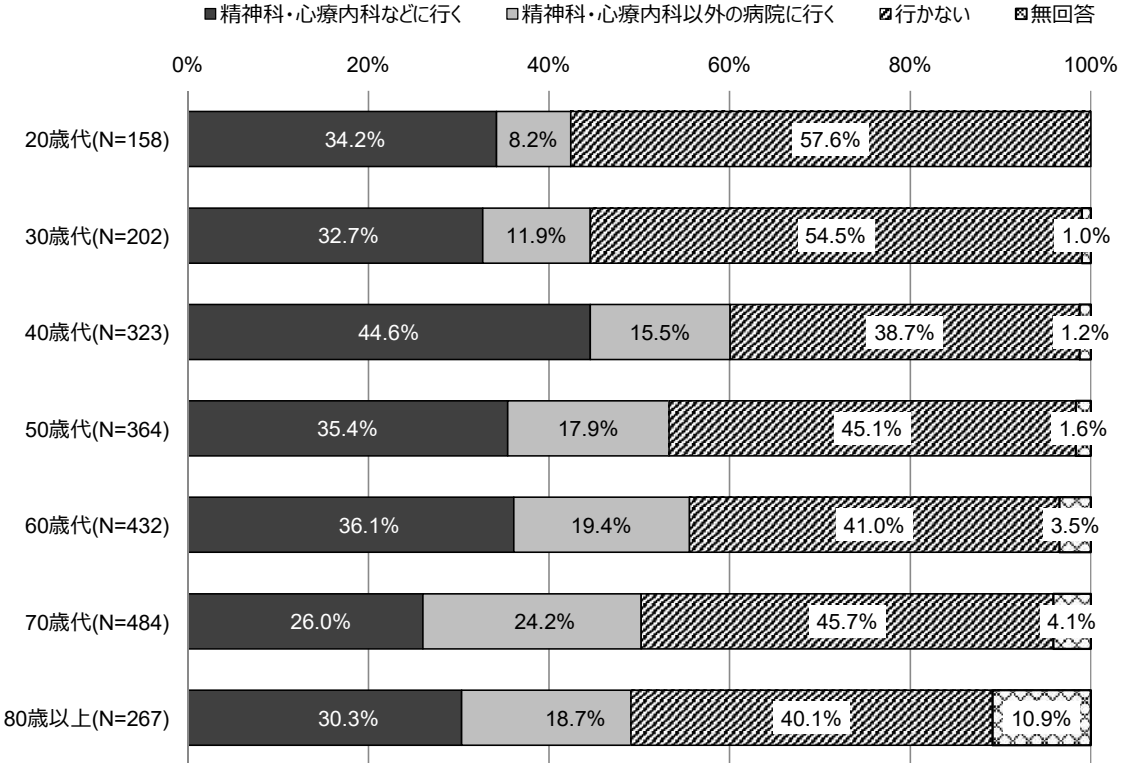
問 19 もし、あなたがよく眠れない日が2週間以上続いたら、病院に行きますか。

よく眠れない日が2週間以上続いたら病院に行くかについて、高い方から、「行かない」44.4%、「精神科・心療内科などに行く」34.0%、「精神科・心療内科以外の病院に行く」18.0%であった。



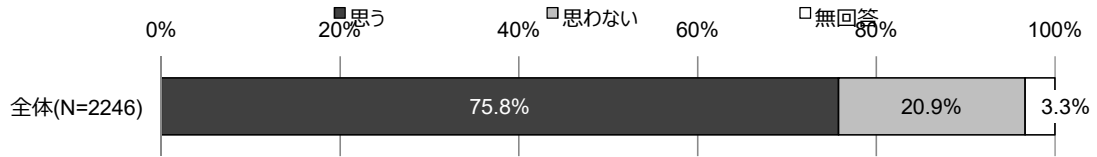
○ 不眠時の病院受診についての意識と年齢との関係

年齢別にみると、「行かない」と回答した人の割合は、高い方から「20歳代」57.6%、「30歳代」54.5%であった。



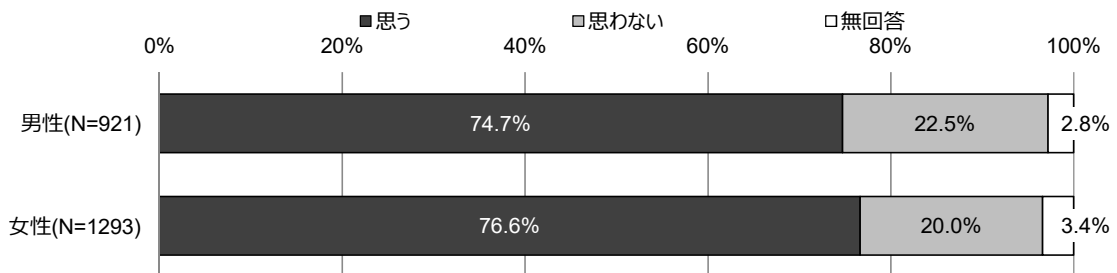
問 20 あなたは、精神疾患は生活習慣病と同じく誰もがかかりうる病気だと思いますか。

精神疾患は誰もがかかりうる病気だと「思う」と回答した人の割合は75.8%であった。



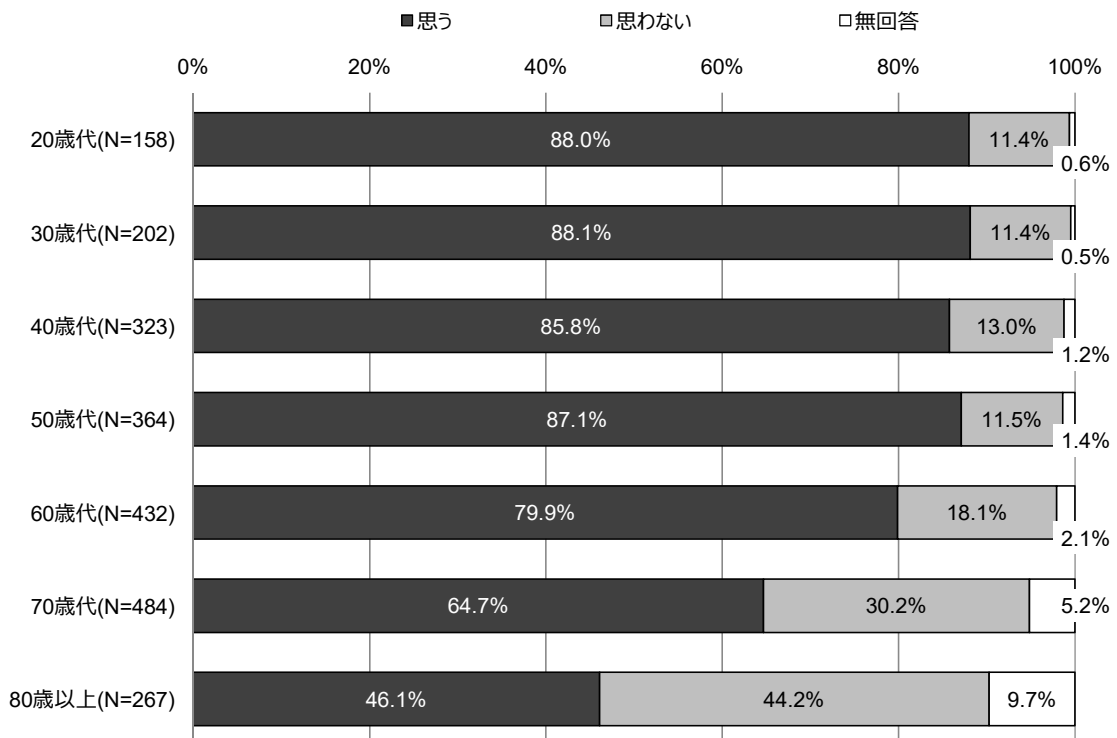
○ 精神疾患についての意識と性自認との関係

性自認別では、「男性」と「女性」に大きな差異はみられなかった。



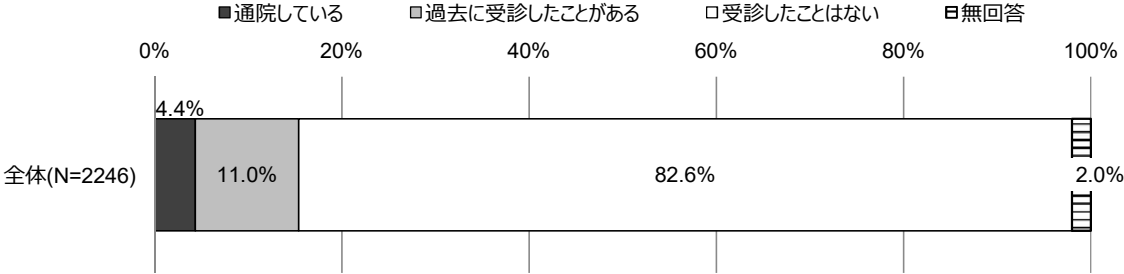
○ 精神疾患についての意識と年齢との関係

年齢別にみると、精神疾患は誰もがかかりうる病気だと「思う」と回答した人は、「30歳代」が88.1%で最も高く、次いで「20歳代」88.0%、「50歳代」87.1%、「40歳代」85.8%であった。一方、「70歳代」は64.7%、「80歳以上」46.1%であった。



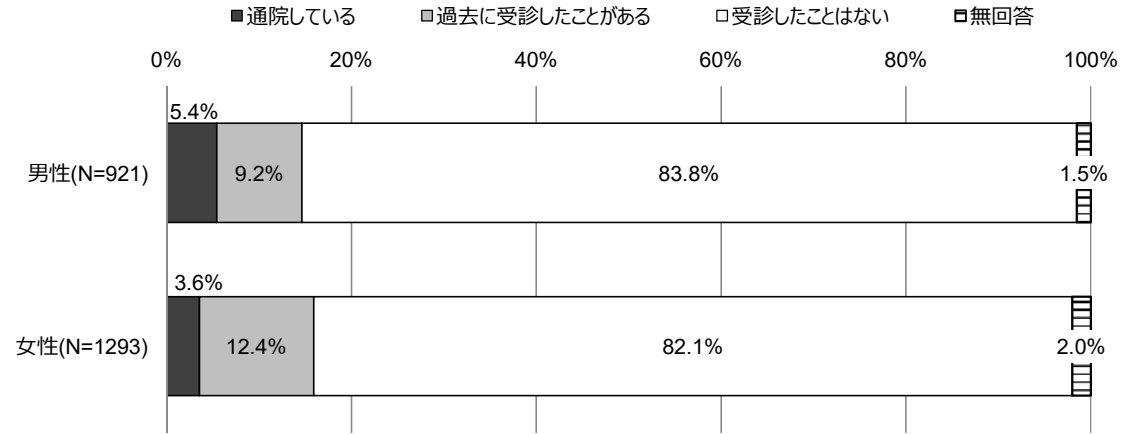
問21 こころの病気や悩み、ストレスで病院を受診したことがありますか。

こころの病気や悩み、ストレスで病院を受診したことがあるかについて、高い方から「受診したことはない」82.6%、「過去に受診したことがある」11.0%、「通院している」4.4%であった。



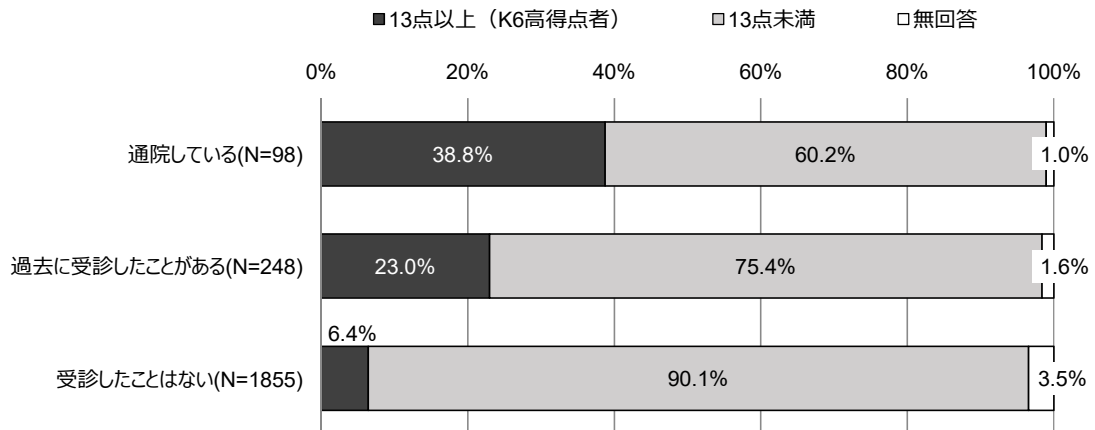
○ ストレスによる受診歴と性自認との関係

性自認別では、「男性」と「女性」に大きな差異はみられなかった。

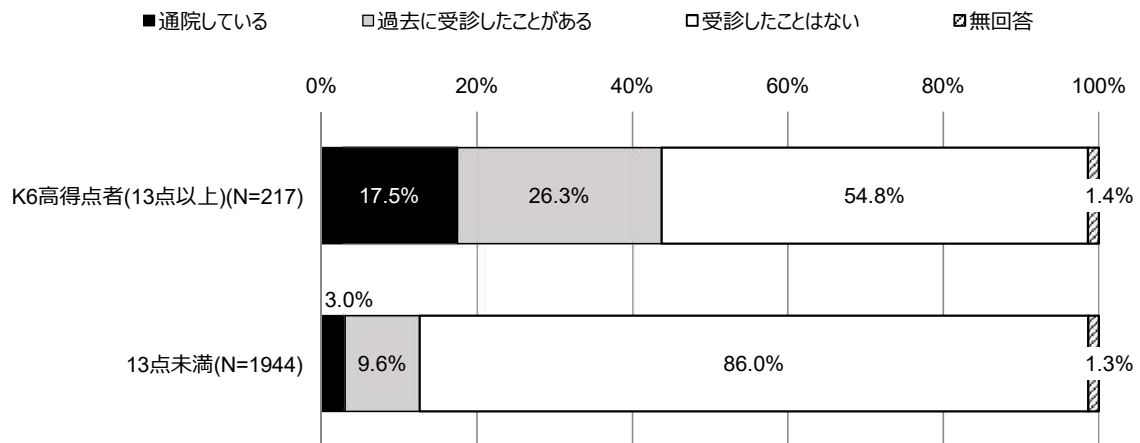


○ ストレスによる受診歴とK6との関係

こころの病気や悩み、ストレスで病院を受診したことがあるかについて、「K6高得点者」の割合は、高い方から、「通院している」38.8%、「過去に受診したことがある」23.0%、「受診したことはない」6.4%であった。

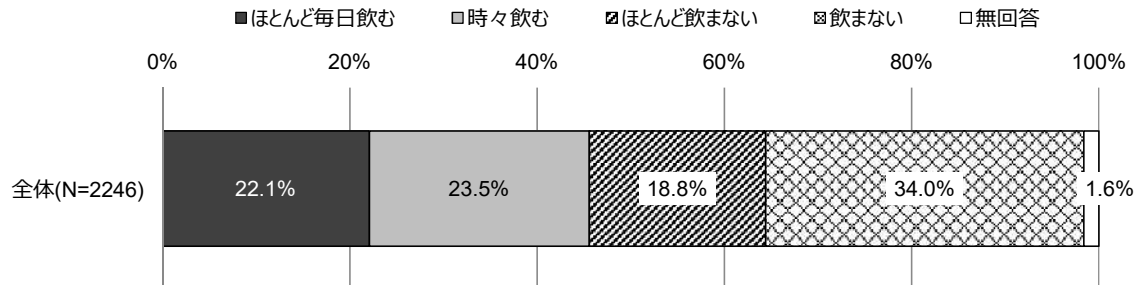


「K6高得点者」のうち、こころの病気や悩み、ストレスで病院を「受診したことはない」と回答した人の割合は54.8%であった。



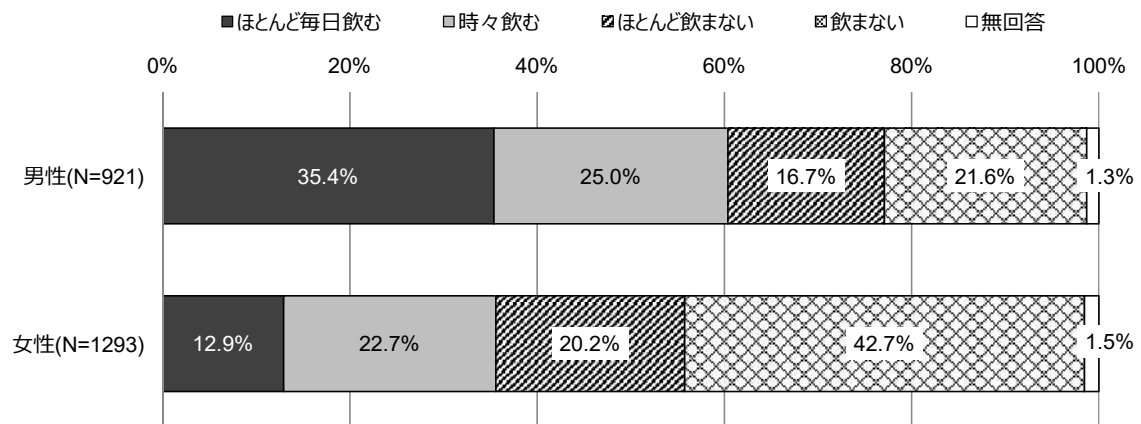
問 22 お酒を飲みますか。

お酒を「ほとんど毎日飲む」と回答した人の割合は22.1%であった。「時々飲む」は23.5%であった。



○ 飲酒習慣と性自認との関係

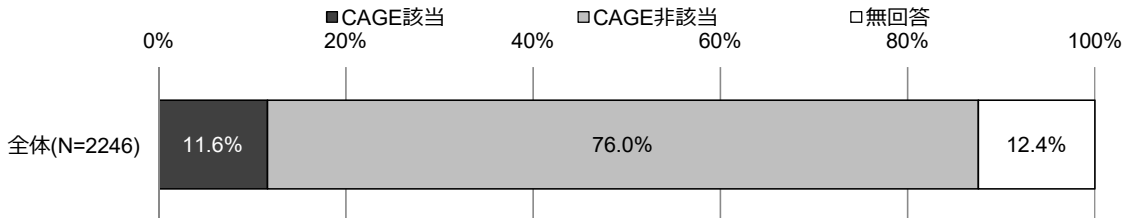
性自認別にみると、「ほとんど毎日飲む」と回答した人の割合は、「男性」35.4%、「女性」12.9%であった。



問 23 あなたの飲酒の状況についておたずねします。

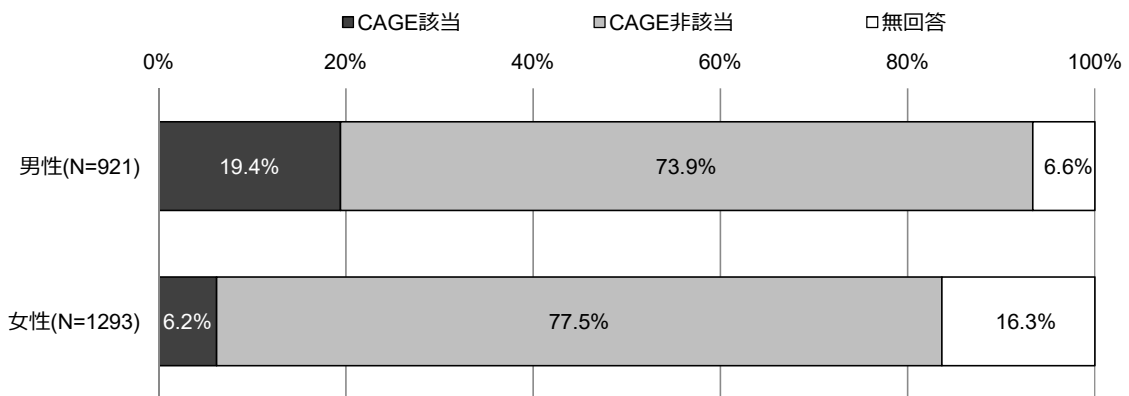
飲酒習慣について、CAGEという4つの質問を行った。CAGEとは、アルコール依存症の簡易なスクリーニング・テストで、4項目のうち2項目以上あてはまる人（以下「CAGE該当」という）は、アルコール依存症の可能性が高いとされている。

「CAGE該当」の割合は、11.6%であった。



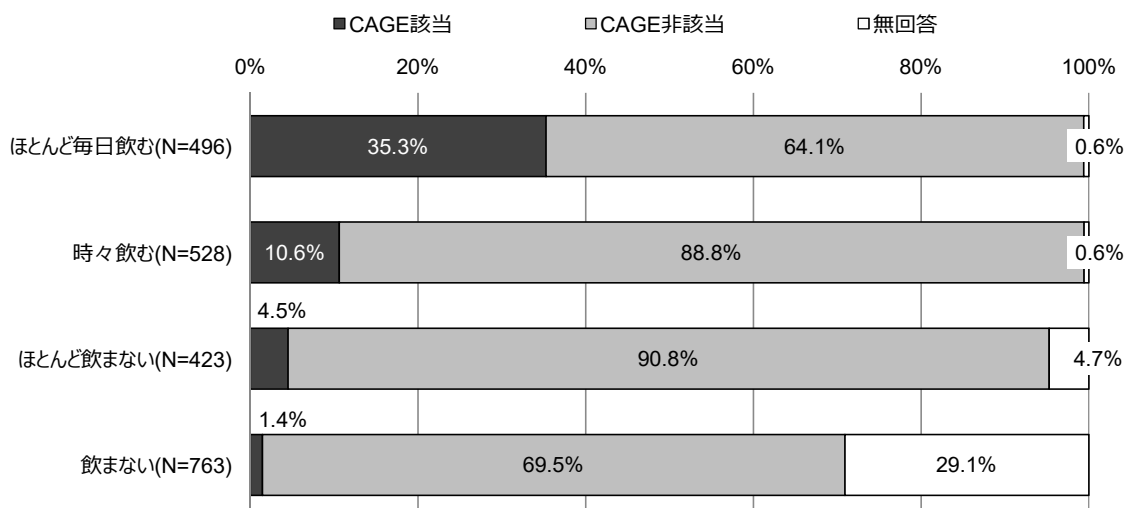
○ CAGE 該当者と性自認との関係

性自認別にみると、「CAGE該当」の割合は「男性」19.4%、「女性」6.2%であった。



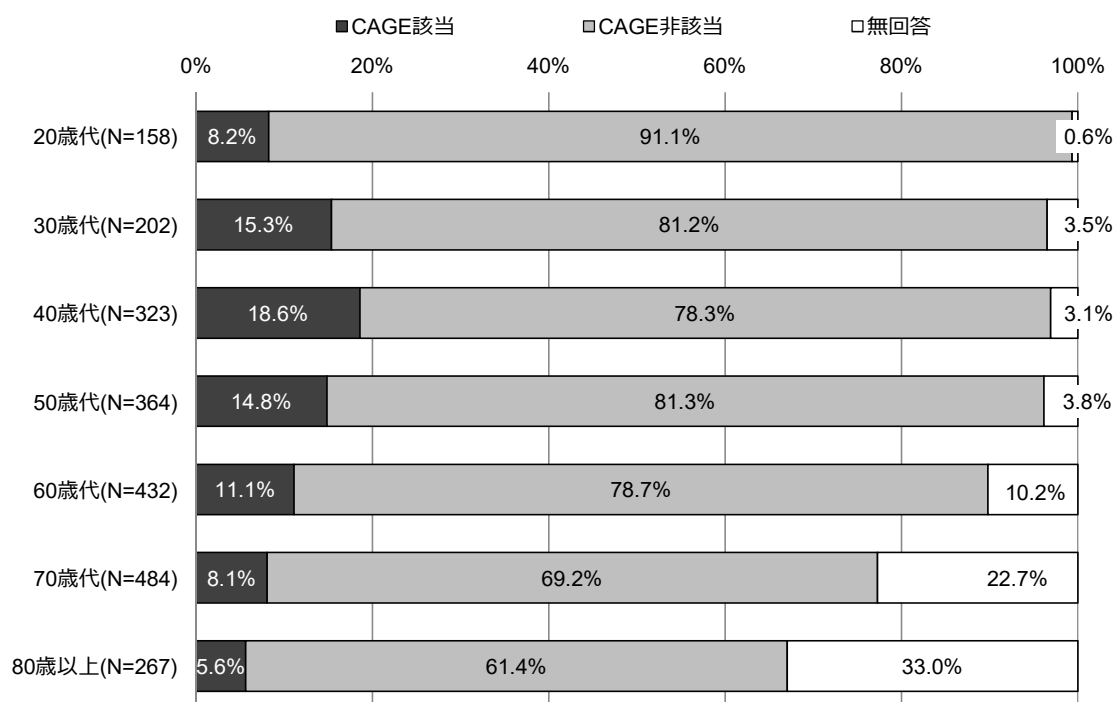
○ CAGE 該当者と飲酒習慣との関係

お酒を「ほとんど毎日飲む」と回答した人のうち、35.3%が「CAGE該当」であった。



○ CAGE該当者と年齢との関係

年齢別にみると、「CAGE該当」の割合は、高い方から「40歳代」18.6%、「30歳代」15.3%、「50歳代」14.8%であった。



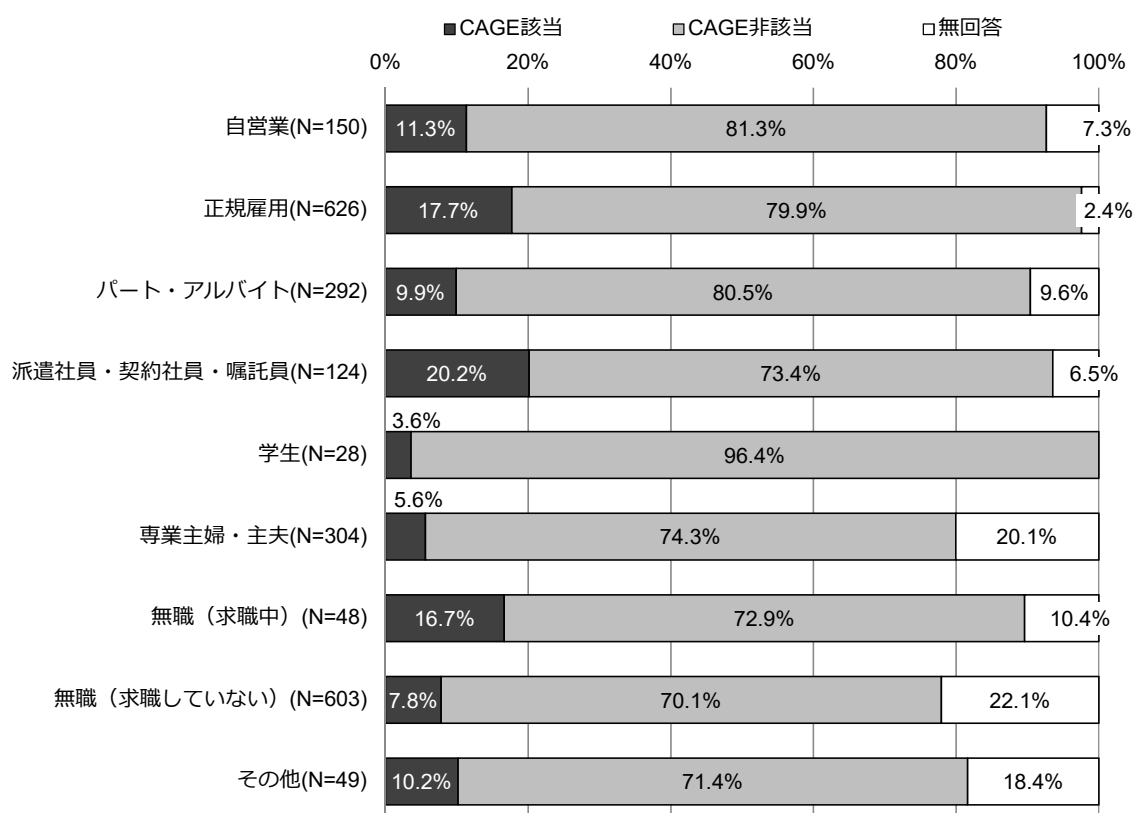
○ CAGE該当者と居住区との関係

居住区別では、「小倉北区」が14.1%と最も高く、次いで「戸畑区」12.1%であった。



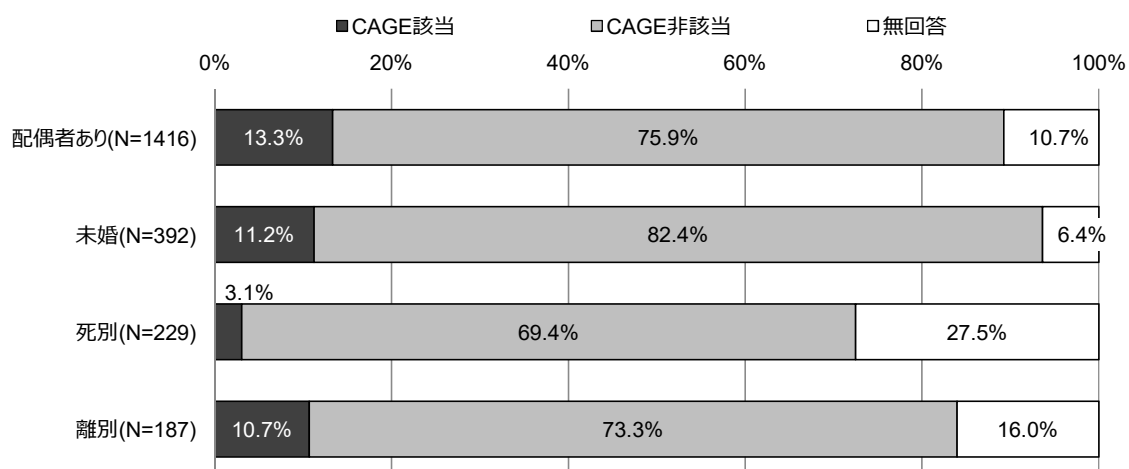
○ CAGE該当者と就労状況との関係

就労状況別では、「CAGE該当」の割合は、「派遣社員・契約社員・嘱託員」が20.2%で最も高く、次いで「正規雇用」17.7%、「無職（求職中）」16.7%であった。



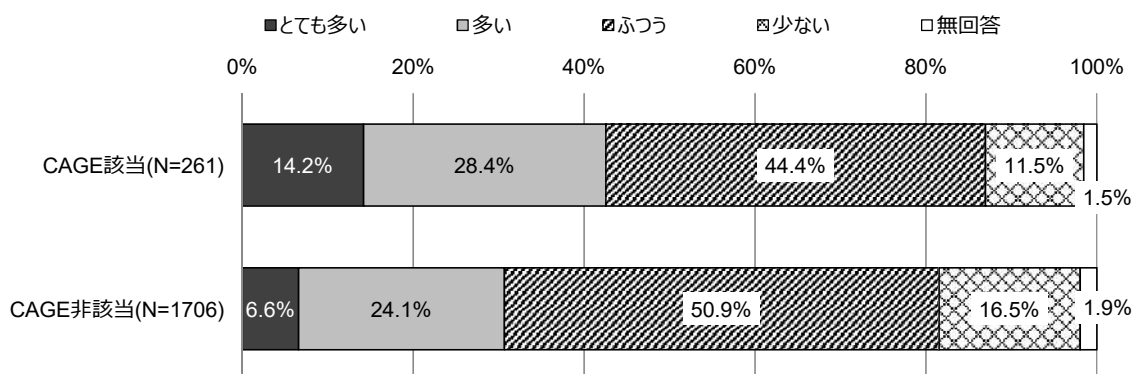
○ CAGE該当者と配偶者の有無との関係

配偶者の有無別では、CAGE該当の割合は「配偶者あり」が13.3%と最も高く、次いで「未婚」11.2%、「離別」10.7%であった。



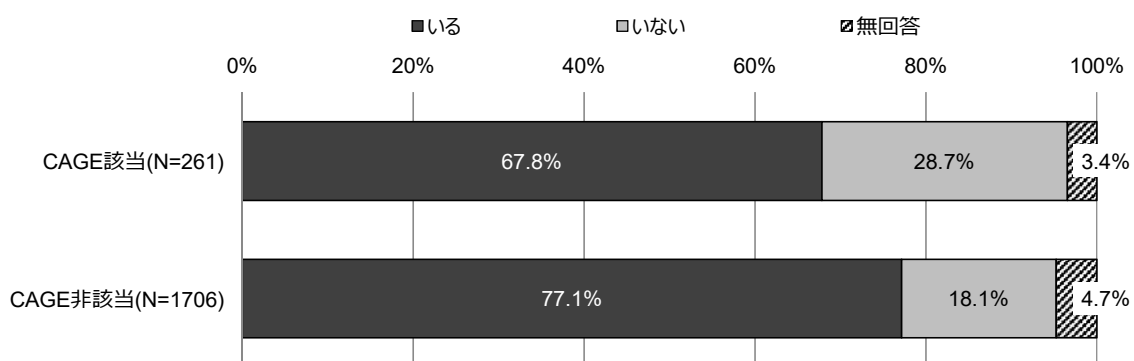
○ CAGE該当者と日常のストレスとの関係

日常のストレスが「とても多い」「多い」と回答した人の割合は、「CAGE該当」では42.6%であり、「CAGE非該当」は30.7%であった。



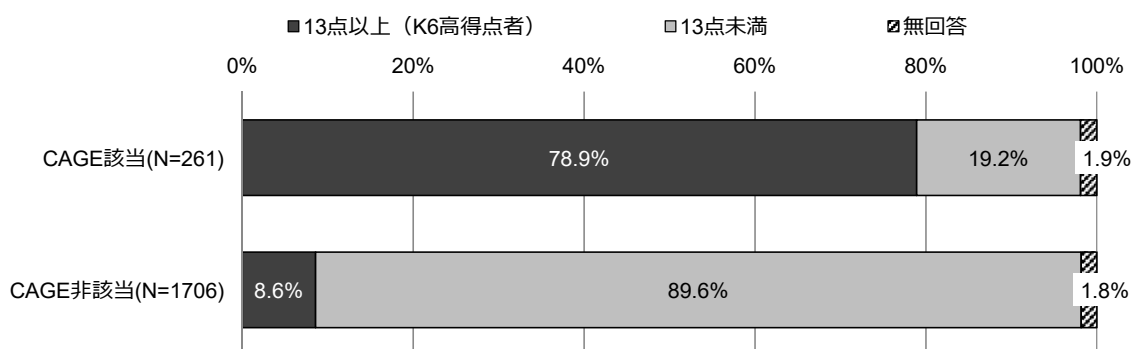
○ CAGE該当者と相談できる人の有無との関係

悩みやストレスを相談できる人の有無との関係では、「CAGE該当」の悩みやストレスを相談できる人が「いない」28.7%と比べて、「CAGE非該当」は18.1%であり、10.6ポイントの差があった。



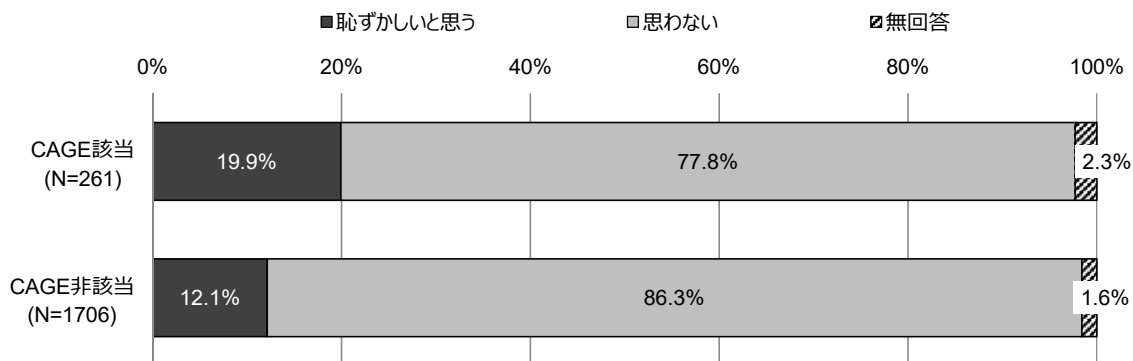
○ CAGE該当者とK6との関係

K6との関係では、「CAGE該当」は、K6高得点者が高くなった。



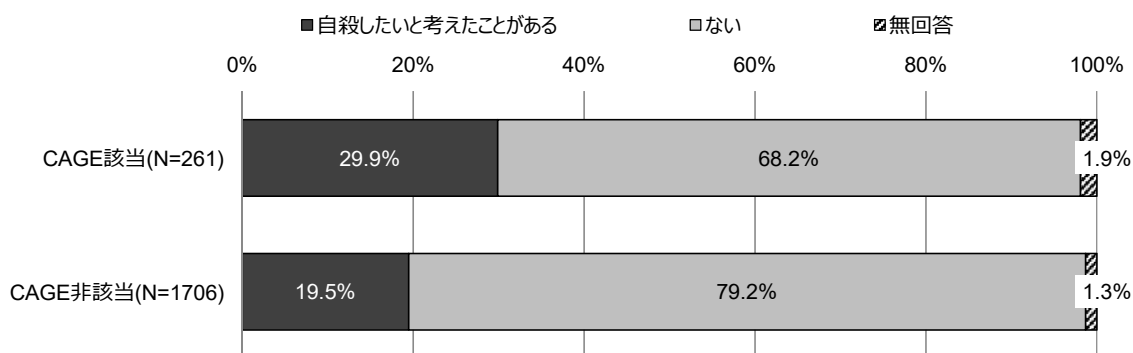
○ CAGE該当者と相談することを恥ずかしいと思う気持ちとの関係

悩みやストレスなどを、だれかに相談したり、助けを求めたりすることへの恥ずかしさとの関係では、相談することを「恥ずかしいと思う」人の割合は、「CAGE該当」19.9%に比べて「CAGE非該当」12.1%であり、7.8ポイントの差があった。



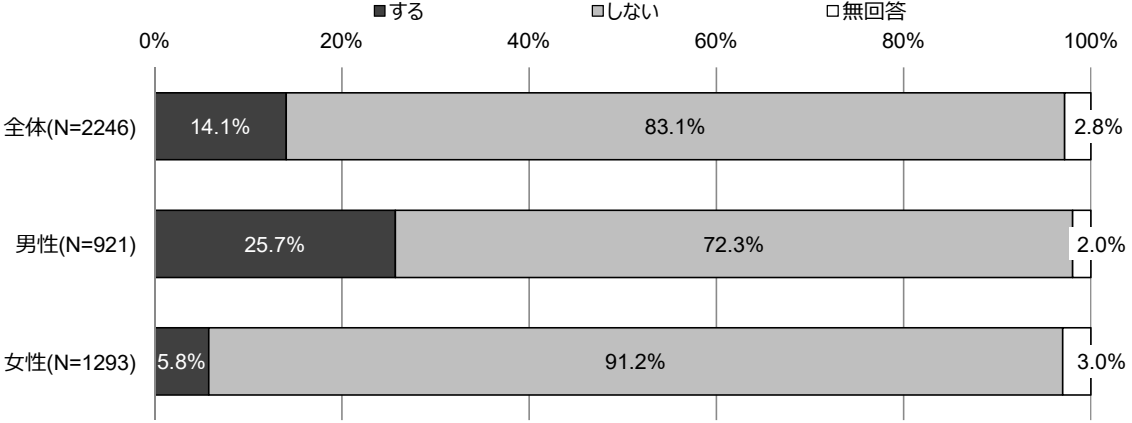
○ CAGE該当者と自殺したいと考えたことの有無との関係

これまでの人生のなかで、本気で自殺したいと考えたことの有無との関係では、「自殺したいと考えたことがある」人の割合は、「CAGE該当」29.9%に比べて、「CAGE非該当」19.5%であり、10.4ポイントの差があった。



問 24 ギャンブル（パチンコ、パチスロ、競馬、競輪、競艇など）はしますか。

「ギャンブルをする」と回答した人の割合は、14.1%であった。性自認別にみると、「男性」25.7%、「女性」5.8%であった。



○ ギャンブルと年齢との関係

年齢別では、「ギャンブルをする」と回答した人の割合は、「40歳代」が20.4%で最も高く、次いで「30歳代」16.8%、「60歳代」15.7%であった。

